

# 日 誌 (昭和44年4月)

## 【国 内】

- 1日 ○埼玉銀行、都市銀行入り
- 7日 ○本行、為替銀行に対し円シフトを認める旨通知  
(「要録」参照)
- 14日 ○東証第1部旧ダウ、1,900円26銭と史上初の  
1,900円大台乗せ
- 16日 ○物価安定推進会議、物価安定対策に関する最終  
提言を発表
- 17日 ○金融制度調査会第1分科会において、都市銀  
行、長期信用銀行、相互銀行の各業界代表、金  
融制度改革に関し公式見解を表明
- 18日 ○通産省、産業構造審議会産業資金部会に、同省  
所管業種の44年度設備投資計画を3兆7,365億  
円(工事ベース)、前年度比+21.3%と報告
- 21日 ○金融制度調査会第1分科会において、地方銀  
行、信託銀行、信用金庫、証券会社の各業界代  
表、金融制度改革に関し公式見解を表明
- 24日 ○金融制度調査会第2分科会において各種金融機  
関の代表、預金保険制度の導入に関し意見を表  
明
- 30日 ○東証第1部旧ダウ、1,904円94銭と史上最高値  
を更新

## 【海 外】

- 1日 ○インドネシア、経済開発5か年計画(1969~74  
年)発足
- 中共、党第9回全国代表大会(九全大会)開催  
(24日まで)
- 2日 ○西ドイツ、中央資本市場委員会外債小委員会、  
外債発行の自主調整を決定
- 3日 ○米国連邦準備制度理事会、公定歩合の引上げ  
(5.5→6.0%、4日から実施)承認と、要求預  
金の支払準備率引上げ(0.5%)を発表
- 第4回東南アジア開発閣僚会議、バンコックで  
開催(5日まで)
- 4日 ○ニクソン米大統領、対外投融資規制の一部緩和  
および利子平衡税率の引下げを発表
- 8日 ○フランス銀行総裁にウォルムセル氏就任
- オランダ、公定歩合を引上げ(5.0→5.5%、9日  
から実施)
- 9日 ○ベルギー、公定歩合を引上げ(5.0→5.5%、10日  
から実施)
- 10日 ○第2回アジア開銀総会、シドニーで開催(12日  
まで)
- 11日 ○ベルギー、為替銀行に対するポジション規制の  
実施を発表
- 14日 ○ニクソン米大統領、1970年度予算に関するステ  
ートメントを議会に提出
- イタリア、大蔵省証券発行レートの自由化を発  
表(5月以降実施の予定)
- 15日 ○英国政府、1969年度予算案を発表
- 第25回エカフェ総会、シンガポールで開催(28  
日まで)
- 16日 ○フィリピン、公定歩合引上げ等の金融調整措置  
を実施
- 17日 ○西ドイツ、公定歩合を引上げ(3.0→4.0%、18日  
から実施)
- チェコスロバキア共産党、中央委員会総会を開  
催、ドブチェック第1書記辞任
- 21日 ○IMF、対英年次協議を開始
- ニクソン米大統領、7%投資免税の廃止等を含  
む税制改革メッセージを議会に送付
- EEC閣僚理事会(蔵相会議)、域内経済・金融  
協力に関するパール提案等を検討
- EEC閣僚理事会(農相会議)、1969年度の麦  
類、砂糖等主要農産物価格据置きの方針を決定
- 23日 ○コメコン(共産圏経済相互援助会議)首脳会議、  
モスクワで開催(26日まで)
- 24日 ○OECD第3作業部会開催(25日まで)
- 27日 ○フランス、地方制度および上院改革に関する国  
民投票でドゴール提案敗れる
- 28日 ○西ドイツ、非居住者預金に対する特別準備率の  
継続実施を決定
- ドゴール・フランス大統領、辞任を声明
- 中共、党中央委総会(一中全会)開催